

岡山県議会議員

おお た まさ たか

太田正孝 県政だより

平成の世直し



太田正孝
県政だより

vol.1

発行日
平成19年10月

発行責任者
太田正孝

創刊に当たって

岡山県議会議員 太田正孝

平素は私、太田正孝に対し、温かいご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今春、市政から県政に挑戦するに当たって多くの方から応援を頂きまして、無事に県政壇上に立てることができました。深く感謝を申し上げます。

半年が過ぎ、「岡山市の政令市移行」、「倉敷市ポリ公園」、「県の財政再建」などの諸課題に力いっぱい取り組み、また、街頭からも政治改革等を一生懸命訴えさせて頂いているところであります。

これから四年間、市議会議員として二年間に皆様から頂いたご厚情を忘れずに、頑張り続ける覚悟でございます。

今後は、その活動の様子を「県政だより」としてお伝えしたいと考えて、創刊を致しました。ご一読頂きましたら幸甚に存じます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

高校教育

どうなる高校再編、魅力ある高校づくり

文教委員会検討中

県北を中心に高校の統合再編が行われています。一番の要因は、子どもの数の減少です。県教育委員会では、一学年が20人に満たない高校については、統合再編を検討しています。高校がなくなると地域では、益々活力が失われることになりかねません。慎重な対応を求めています。

また、各高校の魅力ある学校づくりも行われています。太田正孝は文教委員会で玉島高校を視察しましたが、同校は国のスーパーサイエンススクールに指定され、理数科教育で他校との違いづくりに積極的に取り組んでいます。岡山市内では、岡山大安寺高校が中等教育学校(中学からのみ入学となる中高一貫校)の検討に入っています。先

空き交番の解消

治安回復は太田正孝が一番せねばならないと考えています。本年四月から空き交番が解消されて、4、5月の二カ月の犯罪発生件数は約8%も減少しました。また、検挙率も前年度比35%向上していました。警察の頑張りに感謝です。次は、犯罪ゼロに向けて頑張らなければなりません。

6月県議会一般質問

がんばれ、太田議員！応援します

吉田明文(岡山市選出)

太田正孝は皆様の厚い支援により県政という舞台を頂きました。誠にありがとうございます。市議12年の経験を礎に、かつ、県議としての新人の感性を大切に仕事に当たって欲しいと願うばかりです。少しの失敗もあってよい。まだまだ43歳。皆さんの期待に応えるためにも、挑戦の姿勢を崩さず、その能力を如何なく発揮して欲しいと期待しています。

さて、私はまったく政治、選挙にかかわらずこの51歳という年齢まで過ごしてきました。その私が、昨年9月に太田正孝の後援会長になったのです。それ以来、皆さんから「会長」と呼ばれだし、どきどきのしっばなしてました。新鮮といえは聞こえはよいのですが、あまり心臓にはよくなかったのが本音です。仕事では、経営者として、自

分でご判断することも少しはやってきました。そして、社員には、「新人なのだから、遠慮せず、堂々と人に聞きなさい。」と偉そうに言うてきた私。ところが、今度は私自身が新人です。新人らしい行動をとればよいものを、年相応のことを言わねばならぬと肩に力が入り、上手くいけません。また、経験の少ない若者が答えをなかなか出せない時には、本気で考えればわかるだろうと身勝手なことを考えてしまつたのです。

いかに年齢を重ねても、情報を集め、取捨選択し、人の話を聞き、素直に受け入れつつ、最後は自分で判断し、結論を出すという基本を忘れてはいけません。これをやってゆくには気力とパワーが必要と感じました。同時に、成功体験だけでなく、失敗をすることも大切だという

ことを再認識しました。しなしながら、失敗を認めることはとても難しく、忍耐も必要でした。これから二期目に向けて、新人後援会長も身が引き締まる思いです。様々な困難な場面に出くわすでしょう。皆様にもご苦勞をおかけするものと思えます。一生懸命、がんばります。何卒皆様のご協力をお願い申し上げますとともに、厳しく暖かい目で、太田正孝へのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



岡山県議会にて一般質問



チボリ公園 名前がなくなっても倉敷のまちづくりに活かそう!

9月県議会一般質問

これまでのチボリ公園への投資は314億円。累積損失は138億円。その上、チボリ・インターナショナル社とのチボリ・ブランド使用契約が不調に終わりました。

ついでに、知事は倉敷市長に「倉敷市が主体となって今後のチボリ公園の行く末を考えてほしい」と要請。

これは大きな政策転換です。

もちろん、9月定例県議会で見が噴出しました。太田正孝も質問し、「県当局の説明責任」を求めました。さらに、県民の憩える公園として、公園を残せる道を真剣に追求すべきと求めました。

自民党県連としても、「チボリ問題に関する検討会議」を立ち上げて、党の意思統一を図りながら、最善の策を立案中です。

県民の皆様とともに (活動ダイジェスト)



●ビールケースを足場にして



●リンリン隊と一緒に遊説



●支援者と一緒に万歳!



●県議会—県民の声を知事に(2回連続の質問)



●仲間と明日への力を

●仲間の県議と共に街頭から訴え(岡山駅前)



●自民党総裁選「福田康夫候補、麻生太郎候補」
—希望と安心の社会へ—



●総裁選立会演説会のあった会場前にて

太田正孝は、現在の都道府県制度は平等でないと考えています。東京都だけが特別区が設けられていて、都が他の46道府県に比べて突出した権能を持ち、さらに政治、経済の中枢機能を持っている。東京都1対46道府県の構造を変えることが、日本の均衡ある発展に繋がるという想いを持っています。その一つの



国と地方の発展のために 道州制を。

9月県議会で一般質問

有力な方法が道州制への移行です。ついでには、道州制への移行に当たって、州毎の力が対等になるように努めるべきだとの思いを石井知事に質問したところ、同じ考えであることが分りました。今後も道州制推進に全力を傾注して参ります。

具体的には、公有財産のなかの未利用地を徹底的に処分することから始めるべきではと質問しました。例示した「警察本部大正町宿舍土地3・032㎡、建物2・383㎡の空き家」も早急に処分を行ってゆく旨のご答弁、並びに他の未利用地延べ200haも処分計画策定に努

福田内閣誕生

平成19年9月
自民党青年局全国会議に参加し、二人の候補者の話を伺いました。

「希望と安心」を理念に掲げて、福田内閣が誕生しました。平時ではなく、有事だからこそ出馬であったとは福田首相の言葉。私たちに、国民に真面目に向きあう内閣でなければなりません。国民本位の政治でなくならず、国民に寄り添う内閣が誕生すれば、若手議員として思い切った声を出して、国民のための政治になるように体当たりで向かって参ります。しっかりと国を舵取りを強く望みますと同時に、福田内閣に期待をします。

事務局からのお願い

太田正孝から県政の動き等をニュースメールで配信しています。ご希望の方は事務局のメールアドレスまでお申し込み下さい。また、行事、冠婚葬祭等のご連絡もお待ちいたしております。

E-mail: masataka-0804@rose.plala.or.jp



北京オリンピックの 事前合宿に岡山県名乗り

9月県議会で一般質問

今年の夏の大阪世界陸上では、選手の事前合宿が鳥取県、高知県等で行われましたが、岡山県で行われなかったことは大変残念でした。残念がるばかりではいけません。今度の北京オリンピックでは是非とも各国の選手団の事前合宿を招致すべきと太田正孝は、9月県議会で知事

に訴えました。本年7月末に、大連へ北京便も就航しており、また国体開催でスポーツ施設も他県以上に整っていることもあり、知事からも賛同を頂きました。これから、岡山県の最高の環境を世界にアピールして、岡山から北京オリンピックを盛り上げましょう。

ピンチ! 県財政 県有地の処分から行財政改革を!

9月県議会で一般質問

県当局の当面の財政に関する試算を見ると、平成19年度の収支不足が209億円、経常収支比率が98.4%という数字が出ています。岡山市も悪いと言われているようですが、それ以上に財政が硬化化しています。新しい事業はほとんどできないのが現状と言っても過言ではありません。こうした状況を看過することは出来ないの思いから、9月定例県議会では、行財政改革をもっと徹底的に行わなければ、県政の展望は開けてこないことを訴えました。

力してゆく旨の決意の弁を頂きました。他の議員の質問でも、空き室の多い職員宿舍の有効活用などの議論もありました。民間では当たり前に行われていることは、県でも行って、行政のスリム化を行うべきです。まだまだ厳しい財政運営を余儀なくされますが、健全財政に向けての提言をこれからも行って参ります。

岡山市延友の新事務所のご案内



近くをお通りの際はお立ち寄り下さい。お待ちいたしております。

住所：岡山市延友455
電話：086-201-5523
FAX：086-201-5541

事務局員：山本